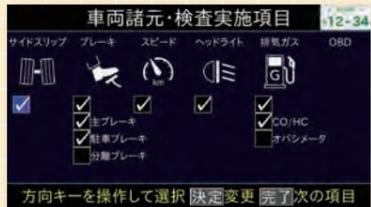


CHARGE

トータル車検ラインシステム ラインマスター ALM2025

コンプライアンス強化と作業効率向上を両立! OBD検査対応



車両諸元、検査情報設定機能

車両重量や車軸数、検査実施項目、規制基準(スピード、ヘッドライト、排気ガス)等を事前に設定することで、検査開始後に誤って規制基準を変更することなく作業を進めることが可能です

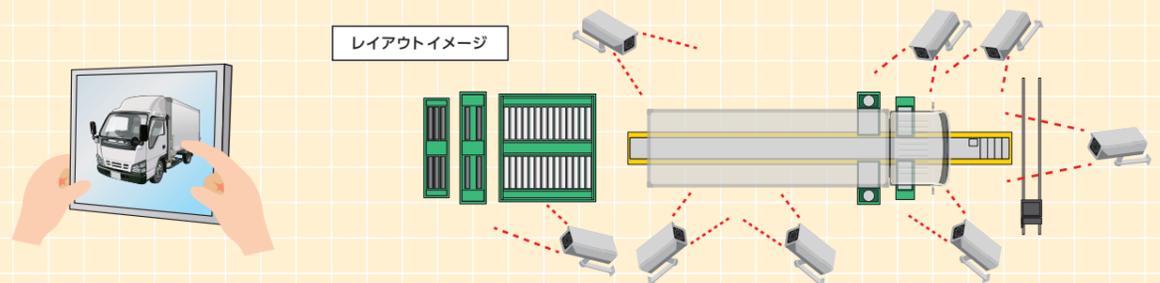
画面を刷新し、補助機能を充実

分かりやすいアイコンで視認性を向上、テスターの動作や車両の操作について音声で案内可能です

※すでにラインマスターをご使用のお客様は、ソフト更新によりALM2025に対応可能となります(ver.によります)。詳しくは最寄りの支店または営業所までお問い合わせください

車両画像撮影システム (ラインマスターオプション)

完成検査中に写真撮影を行うことで、不正車検防止に寄与



① 車体撮影機能(基本)

車体の同一性を確認するためタブレットやカメラで車体撮影を行います

② 検査時撮影機能

ラインマスターと連携し、検査時の車両撮影を行います
※固定カメラはオプション

③ ナンバー認識機能(オプション)

専用のナンバー認識カメラを使用することにより、車両情報を簡略化できます

バックナンバーは「WEB CHARGE」に掲載しております。お時間のある時にぜひご覧ください!



ANZEN 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
安全自動車株式会社 TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 札幌支店
TEL(011)511-6241(代) | 仙台支店
TEL(011)511-6241(代) | 郡山営業所
TEL(022)236-1211(代) | 宇都宮営業所
TEL(027)384-3001(代) |
| 釧路営業所
TEL(0154)24-0161(代) | 盛岡営業所
TEL(019)637-8711(代) | 高崎営業所
TEL(027)384-3001(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) |
| 仙台支店
TEL(019)637-8711(代) | 戸田支店
TEL(029)241-0932(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 盛岡支店
TEL(019)637-8711(代) | 水戸支店
TEL(025)382-5815(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 新潟支店
TEL(025)382-5815(代) | 東京支店
TEL(043)284-2800(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 新潟支店
TEL(025)382-5815(代) | 千葉支店
TEL(043)284-2800(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 東京支店
TEL(043)284-2800(代) | 名古屋支店
TEL(076)248-0499(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 名古屋支店
TEL(076)248-0499(代) | 金沢支店
TEL(076)248-0499(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 大阪支店
TEL(078)265-0375(代) | 神戸支店
TEL(078)265-0375(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 神戸支店
TEL(078)265-0375(代) | 広島支店
TEL(082)832-3630(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 福岡支店
TEL(099)213-0762(代) | 南九州支店
TEL(099)213-0762(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |
| 南九州支店
TEL(099)213-0762(代) | (株)松本安全
TEL(0263)45-2181(代) | 高松営業所
TEL(057)871-1811(代) | 静岡営業所
TEL(054)236-5066(代) |

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

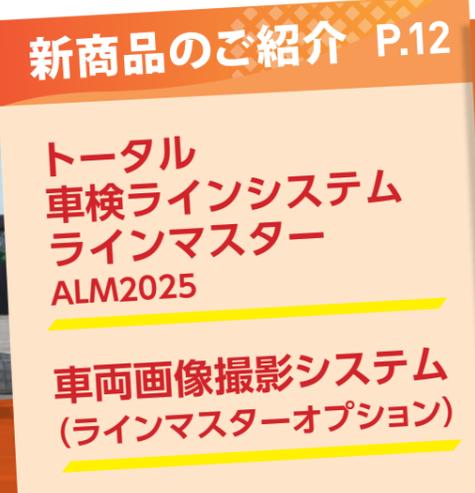
ANZEN で 検索
<https://www.anzen.co.jp>

●発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
●ANZEN NEWS CHARGE 105号 (2024年10月発行)
※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! ▶▶▶
ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



USER REPORT 小型 P.02
株式会社ナカノオート



新商品のご紹介 P.12
トータル車検ラインシステム ラインマスター ALM2025
車両画像撮影システム (ラインマスターオプション)

2024 Autumn VOL. 105



USER REPORT 大型 P.06
岩手日野自動車株式会社 本社・盛岡営業所・盛岡工場

秋・冬こそ注意!

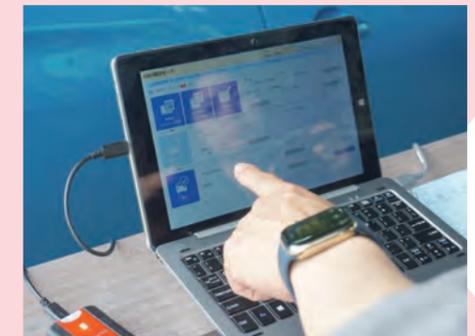
整備機器 トラブル対処法と メンテナンス ポイントを ご紹介 P.10

TOPICS OBD検査が本格スタート! これから注意すべきポイントは?

プレ運用期間中は、検査用スキャンツールの選定からOBD検査の流れ、料金設定などOBD検査に対応する実務について準備を行いました。OBD検査の本格運用が始まってからは、こうした実務の確立だけでなく、コンプライアンスをさらに徹底する体制もしっかりと構築しなければなりません。例えば、特定DTC照会アプリのIDの使いまわしや、検査員になりすましてOBD検査を行うこと、OBD検査が不適合であるにもかかわらず、保安基準適合証を交付した場合などは不正車検となります。特に気をつけなければならないのは、プレ運用終了後にもかかわらず、練習を目的にOBD検査を行い、保安基準適合証を交付する場合があります。10月1日以降は全てのOBD検査は本番となります。また、お客様の個人情報漏洩のセキュリティ対策も不可欠です。

この他、指定工場は検査用スキャンツールの届出、そして自社の指定自動車整備事業場管理規程の見直しが必要です。

OBD検査に関わるコンプライアンスは今後の監査における重点項目のひとつといわれているので、いま一度、検査を円滑かつ適切に行うための確認をお願いします。



前号の特集ページはこちら



株式会社ナカノオート

乗用車・大型車、両整備に対応する最新工場が誕生。
お客様との絆を未来へつなぐ、車両のトータルサポート拠点



店舗情報

株式会社ナカノオート
新潟県長岡市蓮湯町308-3
TEL：0258-86-4181
従業員数：39名(メカニック10名)



今回お話を伺った方



代表取締役
中野 澄 様



ビジネスソリューション
事業部
カスタマー・アテンダント
石田 俊行 様

1972年の創業から半世紀余り、株式会社ナカノオートの歩みはチャレンジの歴史でした。創業者、中野功氏が29歳で独立し、開業、その後41年にわたって会社の土台を築いてきました。車検チェーンへの加盟により、年間の車検台数は4,600台にまで拡大させる一方、サービス品質を高めるため、2000年には国際規格ISO9001認証を取得しました。また、法人ユーザーを増やすためにトラック販売をスタートさせたのは中野功氏が60歳のときでした。2013年、事業承継により中野澄氏が代表取締役に就任すると、同社のアップデートは更に加速しました。そして9月1日、創業からの夢と思いが詰まった、新店舗をオープンさせ、新生ナカノオートがスタートしたのです。

同社ではスタッフとお客様、そして同社に関わる全ての人々を家族と捉え、クルマに関わる「クルマごと」のプロとして、家族の暮らしを、より幸せにすることを理念に掲げています。そのうえで、大型・小型を問わない自動車販売と自社オリジナルの車検商品をはじめとする整備サービスを両輪に、自動車に関わるサービスを再構築しました。

「従来あった複数の拠点を1店舗に集約して、生産効率を高めるとともに、車検ではペーパーレス化を図ることで、省力化を実現しました。これらの作業にかかる時間を削減したことで、お客様にはさらによりよいサービスとご提案を行ってまいります」と中野澄代表取締役。そのサービスを実現するため、店舗には様々な思いをデザインに託し、サービス工場には機能的な設備投資を効果的に行いました。

「女性でも活躍できる整備環境づくりの推進」をコンセプトに大型車のサービス工場にチャレンジ

同社の自動車販売は大型車と乗用車をともに販売し、その販

売比率は5:5で拮抗しています。ただし、大型車は業販が中心のため、これまで自社で整備をするケースは多くありませんでした。中野澄代表取締役は大型車整備という新たなチャレンジについて、「お客様の立場として、整備工場のない中古車販売店でクルマを買うことは不安だと思います。お客様が安心してクルマをご購入いただけるよう、新店舗で初めて大型車の整備作業場を設けました。サービスから販売という新たな循環にも期待しています」と語ります。

大型車整備のサービス工場は女性でも大型車整備が容易に行える作業場をコンセプトとしました。2022年に開催された「第23回 全日本自動車整備技能競技大会」で新潟県代表として優勝を飾った石田俊行氏は「ANZENの設備は、立ち姿勢のまま容易に大型車のホイールが取り外せる『タッテラー』を筆頭に、女性メカニックはもちろん、現役整備士にとっても省力化と安全性が重視されており、新店舗のコンセプトと合致しました」と語ります。この作業性と安全性を両立する工場づくりのコンセプトは乗用車の整備作業場でも重視されました。「良質な中古車は良質な整備により生産されます。メカニックはその循環ポンプとなる重要な役割を担っており、長岡に住む人々の暮らしを支えています。その人材と想いを大切にするために、サービス工場も『ひと』中心の設備と環境を整えました」と中野澄代表取締役。

地域を愛し、大切な家族との時間を共有する新しい自動車屋の未来が長岡に誕生しました。

事務所/その他



▲グリーンウォールは本物の自然を切り取ってきたかのようなリアルな壁面



◀▲2階に設けられた社員の食堂兼休憩スペース。社食も提供しており、スタッフには衣食住をサポート

▲お客様待合室の中央には巨大なシンボルツリーを配置。人が集まる空間を創造



▲同社が大切にしたい想いがビジュアライズされた受付。壁に描かれたCIはイニシャルのN、繋ぐという意味のリボン、「心」をイメージしてデザイン



▲新店舗で展開する、あすさく車検はサービス工場と待合室をタブレットでつなぎ、お客様がリアルタイムで整備作業の進捗状況を確認可能



▲喫煙ルームにメカニックの想いと決意をつづった作業着、「ごと服」と工具をディスプレイ



▲家をモチーフにしたキッズスペース



▲全日本自動車整備技能競技大会で日本一に輝いた「石田俊行様」は同社にて活躍中



▲自動車販売に使用する車両撮影ルーム。乗用車用2ブース(左画像)と右が大型車用(右画像)を設備。ライティングはもちろん、大型車はパネル天井部も確認できる高所作業スペースを介して車両上部からの撮影が可能



整備工場

乗用車整備工場



▲“門型洗車機ジスペクトIII”は2基設備し、作業を効率化

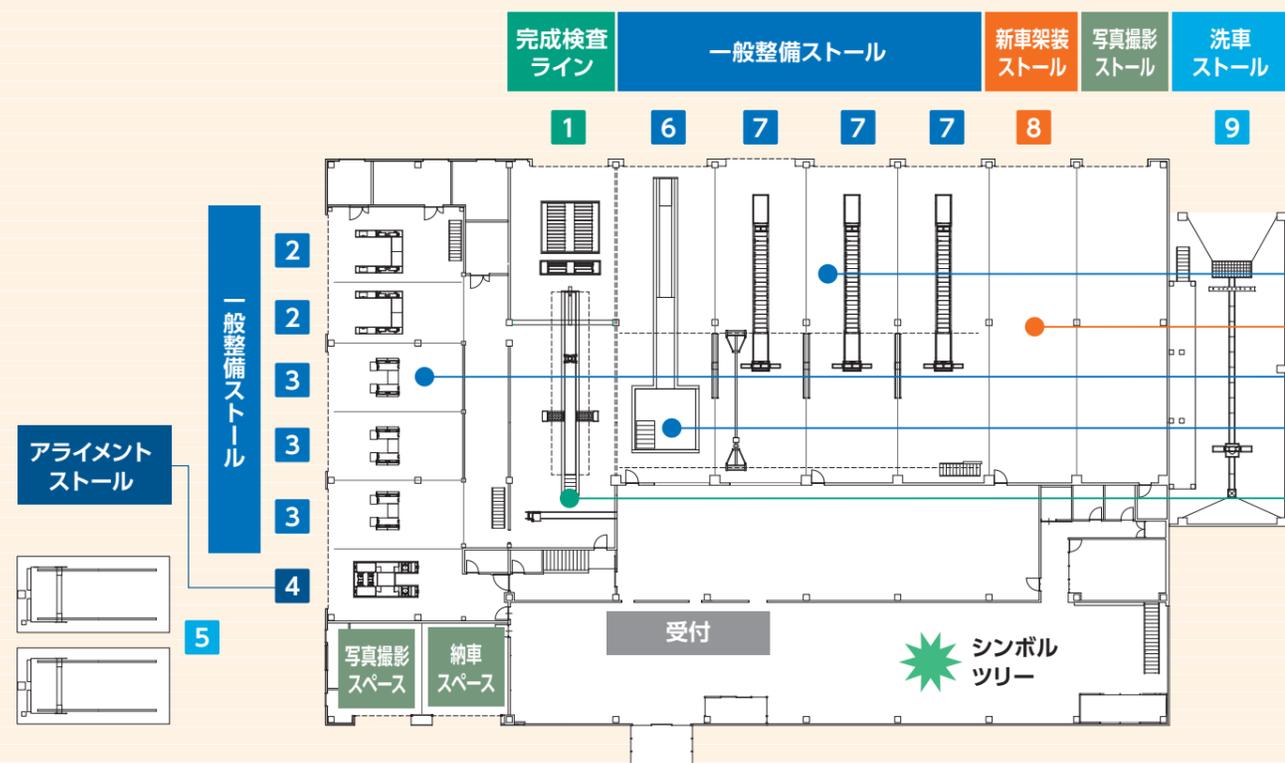
大型車整備工場



▲大型車用洗車場は下部洗浄と上部洗浄機を導入し、高所作業スペースに洗車ホースを設け(右画像)補助的な洗浄も可能。片側にピットを設けることで、かがむことなく洗車作業ができ、作業者の負担を軽減

図面でわかる！
ここがポイント！

乗用車・大型車整備、両方を兼ね備えた
オールマイティな最新整備工場



乗用車・大型車兼用

- 1 完成検査ライン
(ラインマスター+ヘッドライトテスター+BSテスター+サイドスリップテスター+多軸フリーローラー+フロアリフト+ピットリフト+荷重試験装置)

乗用車工場

- 2 アヴェンタスリフト (ASC32U)
3 ファンタスIIリフト (BSC32KUVL)
4 マルチアライメントリフト (MUS30HU)
5 門型洗車機ジズペクトⅢ×2

大型車工場

- 6 3分割フロアリフト
7 2柱式ツインパワーリフト (TWPF30N)
8 排気装置+温風低圧塗装機
9 洗車対応1柱テストリフト+上部・下部洗浄装置



このページに掲載している機器のカタログをご覧ください

整備工場

大型車整備工場



▶▶大型車の整備作業場は完成検査ストールを含め、全7ストール。ストール毎に吹き出し口が360度回転する空調を完備(右画像)。



▶大型車(左側)と乗用車の整備工場(右側)。工場の入口はそれぞれ別途に設置



▶“3分割フロアリフト”の1枚を広くすることで、エンジンの脱着作業を容易に。ピット内にドレンキャビネットを設置することで、廃油処理もピット内で完結。作業時間の短縮とメカニックの負担が軽減

▼検査ラインは乗用車・大型車の兼用。降雪地域により4WD車の需要が多く“多軸フリーローラー”も両車兼用。市内でも珍しい“荷重試験装置”(右画像)も導入



▶架装ストールは下回りの塗装を実施する際のミスの飛散を防止するためカーテンを設備するとともに排気装置を設置



▶下回りの塗装に用いる温風低圧塗装機を設備。温風によるエアで塗装をするため速乾性が高く、塗着効率は90%。作業場内への塗料粒子の飛散を大幅抑制



▶“タッター”や“ホイールドロー”などの省力化機器を導入し、労働環境改善に寄与



▶“自立式リール架台”の導入で、天井走行クレーンの可動範囲を拡大

乗用車整備工場



▶乗用車の整備工場は全6ストール。“マルチアライメントリフト”1基、“ファンタスIIリフト”3基、そして“アヴェンタスリフト”を2基設備



▶2基導入した“アヴェンタスリフト”。“3段アーム式は、車種を選ばずリフトアップできる点で使い勝手がいいです”(石田俊行氏)



▶シートシャッターを導入することで、冷暖房効率を向上



▶“ホイール balancer”はコストパフォーマンスに優れたスタンダードモデル、neo221を新たに導入

営業担当者のココがポイント！

乗用車工場ではアヴェンタスリフトを導入し、重整備にも対応できる整備ストールとなっています。大型車工場ではツインパワーリフトの他に3分割フロアリフトを導入、クイック整備や重整備を行える体制になっております。また、メカニックの方の負担軽減のため乗用車・大型車工場のどちらも空調設備を導入しております。ナカノオート様は、今回の移転に伴い新たに大型車の車検・整備を開始されます。新たな挑戦のサポートをすることができ、大変うれしく思います。今後もナカノオート様のお役に立てるよう、より良い商品提案やアフターサービスを行って参ります。



左：新潟営業所 石川 右：代表取締役 中野澄様



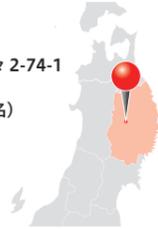
岩手日野自動車株式会社 本社・盛岡営業所・盛岡工場

豪雪地帯特有の環境に応じた
安全・快適・高効率な大型車サービス工場



店舗情報

岩手日野自動車株式会社
盛岡工場
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々 2-74-1
TEL : 019-618-1210
従業員数 : 48名(メカニック36名)



今回お話を伺った方



取締役 部品整備部担当 鈴木 太枝 様	部品整備部 部長 佐藤 芳郎 様	盛岡工場 工場長 平智也 様
---------------------------	------------------------	----------------------

岩手日野自動車株式会社は2024年5月30日、本社・盛岡営業所・盛岡工場を約45年ぶりに移転・リニューアルオープン。本社事務所と総計25ストールの整備・修理工場を備える、極めて規模の大きい拠点となりました。

同社が商圏とする岩手県内は全域が豪雪地帯に指定されており、冬期は降雪のみならず融雪剤への対策も求められる環境下にあります。また旧工場では東日本大震災を経験しており、その際は「各ストール間の通路だけではなく、駐車場もスペースに余裕がなかったため、揺れた車両同士の側面が衝突することもあり、安全にも十分配慮した設計を目指した」(鈴木取締役)といます。

本社事務所/受付・ロビーや部品庫、完成検査ラインと車検整備ストールを東ウイングに、新車整備、钣金塗装、一般整備を西ウイングに分けて配置。「車検班が下回りの防錆塗装もしており、車検入庫車両のピット滞留時間が長くなる傾向にあるため、車検ストールを独立させました」(平工場長)。

両ウイング間を結ぶ幅20mの通路の上にワーキングドームを設置。「旧工場では冬の朝はまず営業時間前に社員総出での除雪が必要で、車両の整備に入るまで大変な労力がかかりました」(佐藤部長)が、「除雪作業だけではなく雨や強い直射日光による負荷も軽減され、風通しも良くなったため、メカニックが作業に集中しやすくなりました」(平工場長)。

また、各ストールの幅を6~6.5mと広く取り、駐車場の幅にも余裕を持たせたほか、コンプレッサーや季節ものの空調機器やヒーターなどを保管するための中2階を設置。さらに車両の動線を一方通行にすることで、敷地内での事故防止を図っています。

安全確保のために整備環境を整え、
作業効率化にも寄与

完成検査ラインには“フロアリフト”を採用。開口部の安全対策

としてピット転落防止パネル“エフオール セキュリティー”を備えています。「全面をカバーでき安全性が高いうえ、スペース効率が高く開閉操作も軽い」(平工場長)。そのほか、10月より開始されるOBD検査に対応すべく、OBD検査専用スキャンツール“スマートOBD”を導入されました。

車検整備ストールには“2柱式ツインパワーリフト”と“4柱式ツインパワーリフト”を各2基導入。特に“4柱式ツインパワーリフト”は4本の柱が全て移動可能タイプを採用。「大型ダンプカーと全長の短い小型・中型トラックを同時に作業できるようになった」(平工場長)といます。

一般整備ストールには“2柱式ツインパワーリフト”4基と“4柱式ツインパワーリフト”1基、手前側が幅広仕様の“3分割フロアリフト”を2基導入。“4柱式ツインパワーリフト”は「工場内に入れるだけでも大変だったトレーラーとトラクターヘッドを、切り離さずそのままリフトアップできるので、点検作業の効率が大幅に上がり、今後は多用途で活用できます」(佐藤部長)。

“3分割フロアリフト”は「アタッチメントを掛けることができない低床車のクラッチオーバーホールやトランスミッション交換が、このフロア下で全て完結するようになりました」(平工場長)と好評です。

“下部洗浄装置”と移動式洗車ホースシステムが導入された2階式洗車ストールを設置したほか、大型車用塗装ブース内には“エア式アクセスリフト”を2基、4ストールある钣金ストールの一つには安全帯“エスコートレール”を配備。全高が高い車両の洗車や架装、修理作業時の安全性を最大限確保しています。

年間入庫台数の目標は約9000台で、そのうち車検は約1500台を見込む本社・盛岡営業所・盛岡工場。物流業界の諸課題にいち早く対応する最新鋭のサービス工場として今後も進化していくことでしょう。

サービス工場 1/2



▲東西ウイング間にワーキングドームを設置し、天候に左右されない作業環境を構築。敷地内の通路は車両を一方通行としつつ各所に横断歩道を設置し、事故防止を図っている



▲整備・部品フロント兼オフィスは奥まで見渡せる広々とした空間



▲お客様用の待合室は男女別に設置。マッサージチェアも完備され長時間でもくつろげる



▲従業員の休憩室も男女別に設置。休息やリラックスできる時間を提供



営業担当者のココがポイント!

同社のシンボルでもあるワーキングドームをはじめとして、お客様と従業員の皆様の想った素晴らしい工場となっております。車検整備エリアはスルーレーンとなっており幅広い車両に対応、同時に全てのストールヘッテラーを配備し作業効率が向上しております。一般整備エリアでは重整備にも対応できる3分割フロアリフト、塗装ブースにエアアクセスリフトなど安全対策にも配慮しております。先進的な工場づくりに関わることができ嬉しい想いと同時に、今後は安心・安全にご使用いただくためにアフターフォローを確りと行ってまいります。

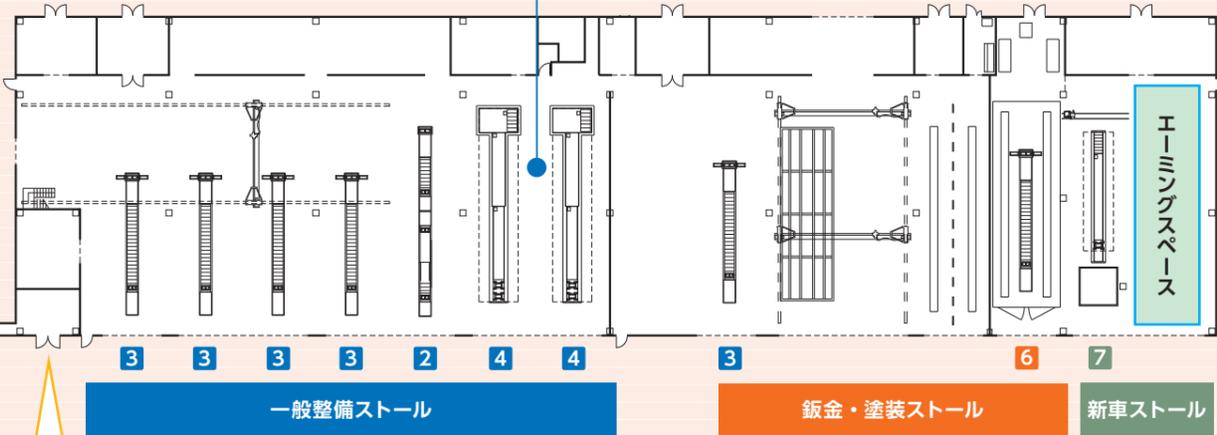


左：部品整備部部長 佐藤様、中央：工場長 平智也様
右：盛岡営業所所長 佐藤

図面でわかる！
ここがポイント！

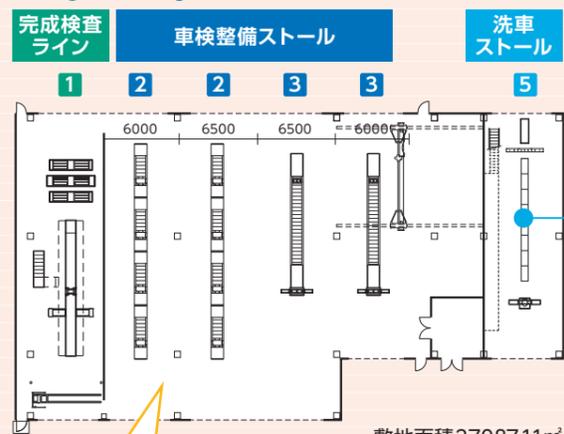
作業効率アップさせるため
整備内容に合わせてストールを独立

西ウイング



一方通行

東ウイング



敷地面積27087.11m²
延床面積8227.62m²



各レーンの間に
設けた白い枠内に
“タッター”
を配備して工場
の美観を向上



このページに掲載している
機器のカタログをご覧ください

- 1 完成検査ライン
(ラインマスター+カラー画像処理方式全自動ヘッドライトテスター+BSテスター+サイドスリップテスター+フリーローラー+フロアリフト)
- 2 4柱式ツインパワーリフト (TWPF60N)
- 3 2柱式ツインパワーリフト (TWPF30N)
- 4 3分割フロアリフト
- 5 洗車対応1柱テストリフト+下部洗浄装置
- 6 塗装ブース+2柱式ツインパワーリフト+エア式アクセスリフト×2
- 7 軸重計+フロアリフト+カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター



中2階にコンプレッサーや廃油・廃液処理システム“FVシステム”を配備



西ウイング、東ウイング共に天井高は8m。風通しも良く涼しく感じられる



▲完成検査ラインの“フロアリフト”にはピット転落防止パネル“エフオール セキュリティ”を完備し転落事故防止と作業負荷軽減を両立



▲車検整備ストールで塗装をする際の粉じん防止としてカーテンレールを設置



▲工場上部に巡らせた配管から廃液を回収する“FVシステム”。廃油タンクまわりの汚れや漏れを防止



▲“4柱式ツインパワーリフト”は全移動タイプのためセッティングがラクになり時短に貢献



▼移動式洗車ホースシステムに待望の2階式洗車ストールを配備。車両の降雪に対して安全性を高めた。冬の季節にむけて活躍を期待



▲リフトのアタッチメントは専用台車に収納して工場美観に配慮



▲1枚目のリフターを幅広仕様にした“3分割フロアリフト”はミッションなどの重量物を上げるために採用。安全柵を常設し転落防止に対応



▲融雪剤で錆びたフレームの修理に重宝する“レーザークリーナー”は静音性が格段に向上



▲完成検査ラインとは別に新車ストールを採用したことで、完成検査ラインの渋滞を解消。左側には“フロアリフト”と“軸重計”を納入し、右側はエーミング用スペースを設けた



▲塗装ブース内には“エア式アクセスリフト”を2基配備し、ルーフ塗装時の安全性を確保



▲钣金ストールには“キュービック大型トラックフレーム修正システム”を導入。今後の収益拡大を図る

整備機器トラブル対処法とメンテナンスポイントをご紹介します

高圧温水洗浄機・エアコンプレッサーのトラブルは秋～冬に発生しやすくなります!
突然のトラブル対処法や、安心してお使いいただくための予防につながる点検ポイントをご紹介します。

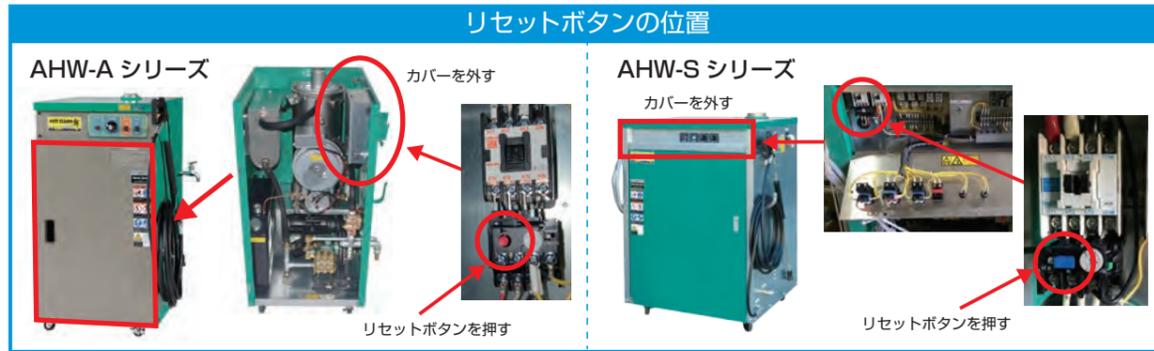


高圧温水洗浄機

エアコンプレッサー

Q 電源を入れても 機器が動作しない

A 安全装置*が作動している可能性があります。リセットボタンを押してください。*モーターの過負荷により過電流が一定時間以上流れると、サーマルリレーが作動しモーターの焼損を防止します。



AHW-0000A⇒AHW-Aシリーズ AHW-0000S⇒AHW-Sシリーズ



※型式によって位置は異なります



A ブレーカーがONになっているか確認して下さい。⇒ブレーカーがすぐ落ちる場合… **漏電している可能性があります。** お近くの支店または営業所までご連絡ください。

Q 洗浄ガンの水圧が弱い

A 減圧弁フィルターのゴミ詰まり、ホースの劣化、部品不良などの可能性があります。



Q タンクに水が溜まらない

A 減圧弁フィルターにゴミが溜まっている可能性があります。清掃し目詰まりを解消してください。

上記で解決しない場合は、お近くの支店または営業所までご連絡ください

Q 電動機はうなるが圧縮機は動いていない

A 配線不良の可能性があります。抜けたり緩んでいる配線が無いか確認してください。



Q エアツール内に水が入り故障した、エアホースがカビている

A タンクに水が溜まっている可能性があります。水抜きをしてください。



不具合を予防するためのお客様自身による日常点検

減圧弁フィルターの清掃 **月1回**

冬季は加えて凍結予防を行いましょ!

洗浄機内部の水抜き **毎日**

凍結防止ヒーターを作動させる **毎日**

(AHW-Aシリーズは手動、AHW-Sシリーズは自動で作動します)



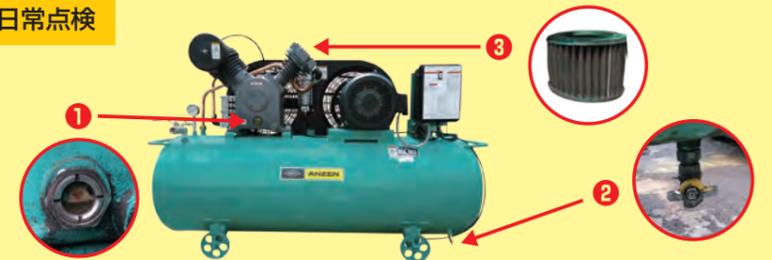
※型式によってフィルター位置は異なります

不具合を予防するためのお客様自身による日常点検

① オイルの確認(量、汚れ) **毎日**

② タンクの水抜き **毎日**

③ 吸込口フィルターの清掃 **月1回**



※型式によって位置は異なります

他にも機器の点検ポイントを確認できます!

整備機器メンテナンスガイドブック



PDFはこちら



整備機器講習会を開催しています

日常点検のポイントや整備機器の正しい使い方を座学・実機で説明します。講習会をご希望のお客様は、お近くの支店または営業所までご連絡ください。

